

い。にもかかわらず日量 20 mm 以上の多降水域の面積で表現された降水量の多寡に及ぼす影響は海面水温の方が大きいことがわかった。すなわち海面水温と 500 mb 気温とでは 1°C の変化の降水に対する寄与率が異なっており、海気温差がそのまま降水量の目安にならないことを示しているといえよう。

謝 辞

本研究に対して、様々なご指導をいただきました境田清隆先生をはじめ、東北大学理学部地理学教室の諸先生、海面水温データを参照させていただいた仙台管区気象台調査課の方々、論文の改稿に有益なコメントを頂いたレフリーの方々に感謝いたします。

参考文献

Kato, K. and T. Asai, 1982: Seasonal Variations of Heat Budgets in Both the Atmosphere and the Sea in the Japan Sea Area. *J. Meteor. Soc. Japan*, 61, 222-238.

- 今 勝義, 1988: 渡島、檜山地方のしぐれ. 研究時報, 40, 81-88.
 宮沢清治, 1964: 北陸地方の豪雪について (2) 一局地解析と気団の変質一. 研究時報, 16, 491-497.
 佐藤厚司, 1965: 俱知安地方の降雪について (第3報). 研究時報, 17, 401-405.
 佐藤幸夫, 1973: 啓風丸レーダーからみた、冬季日本海上に発生するエコー. 天気, 20, 181-186.
 設楽 寛, 1984: 大スケールの分布特性. 日本海海岸地域における降雪分布の体系的な研究, 4-9.
 ———, 1988: 雪の気候. [1] 日本における雪の分布. 雪と生活, 35-81.
 鈴木秀夫, 1961: 冬型降水の及ぶ範囲について. 地理学評論, 34, 321-326.
 内田英治, 1979: V字型の雲パタンと日本海沿岸の大雪. 天気, 26, 287-298.
 ———, 1981: V字型の雲パタンと日本海沿岸の大雪 (II). 天気, 29, 43-52.
 脇阪義和, 1985: 日本列島における冬型降水の地域特性. 地理学評論, 59, 85-97.
 脇田哲雄・大神治之・泉 幸治, 1980: 九州北部地方のしぐれについて. 研究時報, 32, 163-173.

日本気象学会夏期特別セミナー (第3回夏の学校) 開催のお知らせ

第3回夏の学校実行委員会・講演企画委員会

気象学会若手有志によって、若手研究者の討論及び交流の場として一昨年より始められた『夏の学校』も今年で3回目となりました。今回は東北大学が主管となり、実行委員会を組織し計画を進めてまいりましたが、この度下記のように開催の期日及び場所が決定しましたのでご報告いたします。

今回は昨年の『夏の学校』の内容を踏襲し、数人の若手研究者の講演と東北大学理学部の田中正之教授の招待講演を予定しております。また、自由な討論やレクリエーションができる時間もとりたいと考えています。

会場の『いこいの村栗駒』は宮城、秋田、岩手三県の県境に鎮座する栗駒山の山麓、標高 800m の高原にあり、風光明媚かつ豊富な温泉に恵まれ、盛夏のセミナーの会場としてはこのうえない環境にあります。また『夏の学校』の前後には東北各地で華やかな夏祭りが催されますので、気象学会若手の皆様にはみちのく観光も兼ねて振るって参加していただきたいと思ひます。

詳細は日本気象学会春季大会の会場においてご連絡す

る予定ですが、大会に参加されない方で詳しい案内を希望される方は下記実行委員会までご請求下さい。

記

期 日 : 1992年 8月 3日 (月) 午後

～ 8月 5日 (水) 午前

場 所 : いこいの村栗駒 宮城県栗原郡栗駒町
(JR 一関駅からバス60分)

招待講演 : 田中正之 (東北大学理学部教授)

『地球温暖化現象への対応—いまだどのような研究が求められているか—』

連絡先 : 〒980 仙台市青葉区荒巻字青葉

東北大学理学部附属超高層物理学研究施設
第3回夏の学校実行委員会

代表 田口 真

PHONE : 022-222-1800 EXT 3586

FAX : 022-262-3357

E-MAIL : taguchi stppl. geophys. tohoku.
ac.